



# つながり つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和4年9月13日

第10号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

## 小中一貫教育 大麻中学校区の取組

大麻中学校区は大麻小学校、大麻西小学校、文京台小学校の3つの小学校と大麻中学校の「3小1中」で構成される中学校区です。中学校に進学すると子どもたちは一部自転車通学をする等、国道12号線をまたぐ広い校区ですが、これまでも小中交流会や部活動見学等を通じて小中連携を進めてきました。現在は、令和5年度の小中一貫教育本格導入に向けて、事務局校の大麻中学校を中心に企画調整部、教育課程推進部、学力向上推進部、児童・生徒指導部、教育環境部の5部制の推進体制をつくって取組を進めています。目指す子ども像は、「ともに支え合い 夢や可能性に向かって たくましく生きる こども」と設定しました。4校が連携・協力し、既に実施した中学校体験や部活動体験の他、小中一貫教育の「グランドデザイン」や「学習系統表」、「学習・生活のきまり」、「家庭学習のてびき」等の作成に取り組んでいます。

### 中学校体験…雰囲気を体感し、入学に向けた意識を持たせる

6月22日（水）に文京台小学校、6月23日（木）に大麻小学校、8月26日（金）に大麻西小学校の6年生の子どもたちのための中学校体験が実施されました。

まず、3校時に校内見学・授業参観が行われました。中学校の先生の先導で少人数にわかれて校内を巡り、先輩たちの学習の様子を熱心に観て回りました。

また、待機している教室では、自分たちの見学の順番がくるまでオンラインで配信されている授業の様子を視聴しました。

子どもたちは最初、緊張した様子でしたが、先輩たちの落ち着いた授業態度を見たり、先生方の丁寧な説明を聴いたりしていくうちに、少しずつ中学校の雰囲気に慣れていきました。また、見学の中で第2理科室や被服室、家庭科室、技術室等、様々な特別教室があることを知り、小学校との違いも実感したようです。

教室にもどってから「本は何冊まで借りることができますか。」「部活動で人気があるのは何部ですか。」等、中学校の先生方に質問する様子が見られました。

4校時は、小学校の担任の先生の授業を受けましたが、普段と違う教室で学習することで中学校進学後の学習をイメ



文京台小6年生の中学校体験の様子



大麻小6年生の中学校体験の様子



ージできたのではないかと思います。

給食時間は、中学生の先輩たちが配膳の手伝いに来てくれました。小学校より短い給食時間ですが、中学生の協力のおかげでてきぱきと準備を行うことができました。配膳後には、中学生が「残しちゃだめだよ。」「おいしく食べてくださいね。」と呼びかけてくれ、小学生は「ありがとうございました。」とお礼を述べていました。短い時間でしたが、6年生と中学生の温かな交流場面となりました。

今回の「中学校体験」は、「中学校の授業の雰囲気を感じること、中学校入学への意識を持たせる。」という目的を達成する取組となりました。



大麻西小6年生の中学校体験の様子



### ＜小学生の感想＞

- 授業を受けている時、生徒が一人もしゃべっていませんでした。すごいなと思いました。先生たちがとても優しくかったです。相談室や理科準備室などたくさんの教室があって、すごかったです。中学生になったら、ノートをしていねいにすばやくまとめたいです。自分が2年生、3年生になった時に、1年生に優しくしたり、案内してあげたりと頑張りたいです。
- 先輩たちの授業中は、皆さん集中していて、静かですごくいい姿でした。授業を聞いていても、先生の話がとてもわかりやすかったです。主に部活と勉強の両立を頑張りたいです。しっかりと人とのコミュニケーションをとって、楽しくやりがいのある中学校生活を頑張りたいです。



## 野幌中吹奏楽部の出張演奏「ふれあいコンサート」



「素敵な演奏と魅力的な演出でひきつける」



「PTAの方々の楽しい企画に大盛り上がり」

できました。また、並行してPTA主催の「ふれあい祭り」も行われ、保護者の方々が教室を訪問して学校に関するクイズやジャンケン大会等を進めてくれました。子どもたちは、お父さんやお母さんの問いかけに元気よく反応し、教室が大いに盛り上がっていました。小中一貫教育に加えて家庭・地域との交流を深める取組にもなっていました。

8月20日（土）の土曜授業の際に野幌中学校吹奏楽部が東野幌小学校を訪れて演奏会を行いました。これまでもPTAの「ふれあい祭り」と合わせて小中連携の取組として実施されてきたものですが、今回は感染症対策に留意し、一部オンライン中継等を行う等工夫しながら実施されました。

低学年と高学年に分かれて2回の公演を行い、5曲ずつ演奏しました。司会を務めた吹奏楽部の生徒の楽しい進行と各パートの動きを取り入れた素敵な演奏に小学校の子どもたちは、どんどん引き込まれていきました。中学生の約半数は東野幌小の卒業生で、指揮者の先生も東野幌小卒業の先輩だということで親近感もわいたようです。

中学生にとっては、日頃の練習成果を発揮し、達成感や自己肯定感を高めることが